2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	評価実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	200 (5) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	指定規則の研修を受講した理学療法士。		

《授業科目における学習内容》

理学療法評価に重きを置き、学内で学んだ基礎医学・臨床医学・理学療法学の基本的知識・技術をもとに、実際の現場で情報収集、検査・測定、動作分析を実習指導者の指導のもとに行う。その結果から対象者の全体像を把握し、統合と解釈、問題点の抽出、ゴール設定、治療計画立案までのプロセスを経験する。

《成績評価の方法と基準》

臨床実習成績 50%、学内セミナー(症例発表など)・実習出欠状況・提出物など 50%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書・参考書・講義資料など。

《授業外における学習方法》

【実習前】オリエンテーション(実習の目標・心構え・マナーなどの確認)や実習前準備(各種疾患の基礎知識の整理、検査・測定など実技練習、動作観察・分析の確認など)を行う。【実習中】事前学習(実習内容の確認・準備)、事後学習(実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など)を行う。【実習後】学内セミナー(実習報告会など)、実習担当教員からのフィードバック、実習指導者からの実習生評価をもとに実習での課題を確認する。

《履修に当たっての留意点》

実習生としての態度・マナーに留意し、事前の準備、実習指導者とのコミュニケーションを心がけ、主体性のある有意義な実習を送ること。

授業の方法			内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、カルテから対象者に必要な情報収集ができる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、 対象者の情報収集(カルテから)		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、主治医や他部門から対象者に必要な情報収集ができる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者の情報収集(主治医、他部門から)		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、対象者や家族との面接・問診から必要な情報収集ができる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者の初期評価開始(面接、本人および家族への問診)		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、対象者に必要な各種検査・測定を根拠をもって選択・実施できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者の初期評価(各種検査・測定など)		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、対象者に必要な各種検査・測定を根拠をもって選択・実施できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者の初期評価(各種検査・測定など)		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の指導のもと、対象者の動作観察・分析が実施できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者の初期評価(動作観察・分析など)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	すべての情報、各種検査・測定、動作観察・分析の結果の統合と解釈から、問題点を抽出できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	検査・測定結果の統合と解釈から問題点の抽出		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実施した各種検査・測定、動作観察・分析の結果の統合と解釈から、目標設定および治療計画を立案できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	検査・測定結果の統合と解釈から目標設定・治療計画の立案		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	統合と解釈から抽出した問題点、目標設定、立案した治療計画をもとに、初期評価レポートを作成し、対象者の全体像を把握できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	対象者評価、初期評価レポート作成		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導のもと治療体験を行い、対象者の全体像を確認できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	指導者の指導のもと治療体験		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導のもと治療体験を行い、患者の全体像を確認できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	指導者の指導のもと治療体験		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導のもと治療体験を行い、必要な各種検査・測定の追加や再評価を行い、対象者の全体像を確実に把握できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	指導者の指導のもと治療体験および再評価		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導のもと治療体験を行い、必要な各種検査・測定の追加や再評価を行い、対象者の全体像を確実に把握できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	指導者の指導のもと治療体験および再評価		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	初期評価レポート確認・修正を行い、実習全般を通じて今後の自己課題を確認できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	初期評価レポート確認・修正		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	初期評価レポート確認・修正を行い、実習全般を通じて今後の自己課題を確認できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	初期評価レポート確認・修正		